

# 動画付きPOIで「映える×行きやすい」を可視化するオープンデータ

福山大学都市計画ゼミ

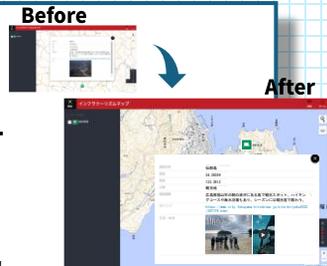
本郷廻りの森  
キャンプ場



## ① 訴えたいアイデアのポイント！

広島県内の観光地の多くは、通過型観光地になっている…  
「訪れてみたい、行ってみたい」と思ってもらいたい！

DoboXの「インフラツーリズム\_施設情報」を拡張し、  
観光POIを「動画+交通データ」で再設計して公開します！



### POINT 1：映える！

短尺動画（Vlog風）+タグで「その場の空気感」を伝え、訪問意欲を高めます

### POINT 2：行きやすい！

GTFS-JPの stop\_id/route\_id をPOIに紐付け、バス停・路線・ダイヤの表示へつなげます

### POINT 3：オープンデータで増殖する！

行政・DMO・民間・開発者がデータを活用でき、PRやアプリなどが生まれます

## ② なぜこのアイデアか？

広島県の観光消費額は、令和6年に 5,918億円（前年差+18.4%）  
→県内回遊が増えれば、地域側の受益も大きい

外国人観光客数は令和6年に 421.5万人（過去最高）  
→言語依存が少ない“動画”は、海外発信に強い

平和記念資料館は令和5年度198万1,617人（過去最多）、  
宮島も来島者が 令和6年は485万人規模で推移し、混雑対策が課題化  
→二大観光地に偏らない回遊設計が必要

「映える×行きやすい」  
インフラツーリズムマップ  
を作成しました！



## ③ アイデア実現までの道のり

### STEP 1 | POIの拡張（最小構成のMVP）

既存施設情報に「動画URL/撮影日/タグ/GTFS (stop\_id・route\_id)」を追加して整備

### STEP 2 | 公開（データセット+マップ）

オープンデータとし、検索・閲覧できる地図に反映。誰でもアクセス可能にする

### STEP 3 | 利活用（発信とサービス化）

県・市町・DMOは公式PRや周遊企画へ、民間・開発者はアプリや多言語案内へ再利用

### STEP 4 | 更新（育てるオープンデータ）

季節・イベントに合わせて動画更新・POI追加。タグで検索性を維持し、継続的な回遊を生む

作成したデータセットに搭載した情報が掲載されています。